



埼玉県主催絵画展 「鉄道画家 福島尚の世界」を開催します

ふくしま ひさし

- 鉄道をテーマにした絵画を描き、その精密な描写力で高い評価を得ている福島尚氏の絵画作品やペーパークラフト作品などを展示いたします。
- 本絵画展は埼玉県主催の「東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム」の一環として開催されます。

■会期 2017年11月3日(金・祝)～11月19日(日)

10:00～18:00(入館は17:30まで)

■会場 鉄道博物館2F スペシャルギャラリー2

※入場料 無料(鉄道博物館の入館料のみでご観覧いただけます)



「首都圏 大宮駅」

(鉄道画家 福島尚氏 プロフィール)

1969年生まれ。埼玉県日高市在住。

幼少期より鉄道に興味を持ち、絵で表現し始める。

障害(自閉症)を抱えながらも努力の積み重ねにより、写真のように細密な絵を描く。

現在は、昼間は福祉の事業所で働き、休日と夜に創作活動をしている。

地元をはじめ全国の鉄道をテーマに描くほか、ペーパークラフトや各種切符のレプリカ作りも。

個展の開催や公募展への挑戦、各種団体の企画展への参加など、活動の場を広げている。

2016年鉄道画集「線路は続くよ」を二見書房より出版。

本絵画展のお問い合わせ先
埼玉県障害者福祉推進課
電話 048-830-3312